



GIFAは G ujo Hachiman I nternational F riendship A ssociation の略です

Vol. 25

発行
郡上八幡国際友好協会
事務局
郡上市八幡地域振興事務所
総務課内
☎0575-67-1811
www.gifa.jp
E-mail:office@gifa.jp

国際交流講演会

郡上市国際推進協議会の協賛事業として、8月26日郡上市総合文化センターにおいて、国際交流講演会が開催されました。

講師はオリンピック金メダリスト 荻原健司氏で、NOKIAスノーボードFISワールドカップ2008gujo大会組織委員会特別顧問でもあります。

「スポーツで国際交流とまちづくり」と題し来年のワールドカップに向け、多くの市民に貴重な体験を交えた公演をしていただきました。



「日独学生青年リーダー交流」事業 ドイツ代表团

8月14日、岐阜県世界青年友の会の主催による、(独)国立青年教育振興機構「日独学生青年リーダー交流」事業ドイツ代表团、ドイツ青年17名他が、郡上八幡を訪れ、徹夜踊りを楽しみました。



猛暑の中、汗だくになり郡上踊りを満喫しました。長いプログラムの中、日本を思う存分楽しめた一夜になったようです。

やさしい中国講座・受講生募集

GIFAでは、やさしい中国語講座を開催します。みなさん多数ご応募下さい。

- ・期間 9月28日～12月7日 午後7時30分～(祝日を除く毎週金曜日・全10回)
- ・会場 郡上市総合文化センター
- ・受講料 郡上八幡国際友好協会会員 500円
一般 4,500円
(この機会に会員になっていただくと年会費3,000円+500円の3,500円で受講出来ます。)
- ・定員 30名
- ・講師 辻サトミ先生(名古屋外国語大卒、愛知学院大学大学院で中国研究の学位取得・八幡町在住)

※申し込み・問い合わせ先郡上八幡国際友好協会事務局 ☎67-1811



会員募集中

郡上八幡国際友好協会では会員を募集しています。年会費は個人3,000円、団体10,000円です。年会費は、留学生の受入や学習会、料理を楽しむ会などの事業や広報活動の費用として大切に使われます。国際交流事業の企画に関心があり、一緒に手伝ってくださる方も募集しています。

【お問い合わせ】
郡上八幡国際友好協会事務局 ☎67-1811(内線165)
ホームページも更新中!どうぞご覧ください。

www.gifa.jp

岐阜大学日研究生と八幡中学生との交流事業

6月15日に岐阜大学日研究生(日本語・日本文化研修生スウェーデンのベテール・ヨソルさん、クリスチャン・マンデルさん、タイのスタリー・ピソットさん、中国の李林菲さん、王水蓮さん、安海星さん)が八幡中学校を訪問して生徒たちと交流しました。

2007年6月15日、岐阜大学に日本語研修生として留学している6人は郡上八幡国際友好協会に招かれ、郡上への旅が始まった。午前12時に岐阜大学のバス停に、会長の鷲見さんと副会長の辻さんと古池さんはわざわざ迎えに来てくださった。簡単な挨拶した後、急いで出発した。途中で、高速道路の入り口の辺りで、協会の方から昼食をご馳走になった。

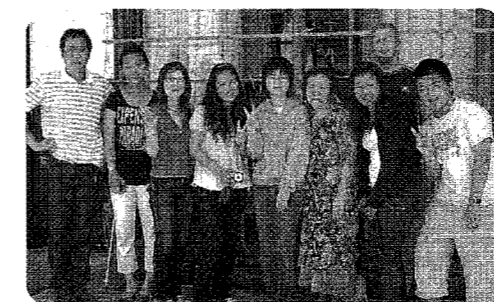
午後2時に近づいた時、八幡中学校に着いた。郡上は山に囲まれたところなので、中学校は麓のところに位置している。「ここで勉強したら、毎日素晴らしい景色をみられていいなあ」と私はそう思った。車に降りると、学校の窓から私たちを覗いている生徒が見えた。そして、私たちはお互いに向かい、手を振った。「みんなは私たちの到着を待っていたんだ。こんなに歓迎してくれるんだ」と私はうれしく、そう思った。その後、校長先生の事務室で少し休んだ。そして、3年生各クラスの代表は迎えてきてくれた。私とタイからの留学生スンの交流相手は3年2組だ。クラスに入るとみんな「どんだけ」という特別な言葉で歓迎してくれた。私は教室の前でみんなの顔をざっと見回し、少し緊張しているが優しい笑顔の生徒たちの姿を認めた。初対面の印象は全員非常に元気というものだった。それから、私たちのために、歓迎の合唱をしてくれた。音響やマイクなどなかったが、あの声は何よりもきれいだ。これは私が生まれてから今までの人生の中で聞いた一番感動した歌の一つだった。『天使の声じゃないか、多分このシーンを私は一生忘れないだろう』とそう思った。



クラスを二つに分け、私とスンはそれぞれのグループに入り、交流活動が始まった。ある会議室で「中国紹介講義」が行われた。『先生』(即ち、私)の解説が分かりにくく、つまらなかったが、生徒は全員まじめに聞いてくれた。「少し中国のことについて、生徒たちのためになれたかなあ」と私は願っている。その後は八幡中学校の選択授業を見て回った。まだ中学生だが、多くの人が大人並みの特技を持っていると発見してびっくりした。お雛子やバレーボールや卓球やロボット製造など、私は日本人の中学生がうらやましい。学校は受験勉強のところだけではなく、本当に自分の潜在能力を磨くことができる場所だ。放課後の前に、もう一回合唱が行われた。私たちは教室棟の向こう側の建物の廊下の中でそれを聞いて、もう一回感動した。そして、生徒たちは私たちのためにもう一回『翼をください』という深遠な意味を含んでいる歌を歌ってくれた。それに、多くのクラスは教室をからべランダに出て、私たちに向けて合唱した。天籟のような声を聞き、私は日本の将来を見たように感動し、震撼した。次に、親切な学生に連れられ、部活動を見て回った。私たちはラッキーで、はじめて剣道と柔道のような日本伝統的なスポーツを見た。



そして、体操をやる二人は非常に上手だと思った。5時30分、ホームステイ先の丹羽奈々恵さんに会った。それから、奈々と奈々の友達——7人ぐらいに連れられ、奈々のお宅へ行った。丹羽家族のお父さん、お母さん、おばあさん、奈々、杏奈、達郎に大変お世話になった。私は伝統的な日本料理を食べ、伝統的な和室で一晩を過ごした。それに、晩御飯の後、家族全員と一緒に町を散歩にいった。郡上は大きな町とはいえないが、仏教の薫陶を受け、伝統文化を大切に、2000年の歴史の香りがあり、静かな町だと思った。『本当に自然に恵まれたところだなあ』とこれは私の心から出た言葉だ。次の日の朝、別れる時になった。付き合った時間は短かったが、みんな親切にしてくれ、まるで、自分の家に帰ったような感じがした。その時がとてつなかった。おばあさんから、家族全員から私へのお土産をもらった。そして、『ぜひ、またきてね』と何回もお父さん、お母さんに誘われた。実は、留学生生活は家から離れ、なんでも自分でやらなければならない。多少つらい。だが、その日にもう一度家族からの暖かさを感じた。私にとって、これは何もより暖かいものだ。丹羽さん一家にもう一回「ありがとう」という言葉を本心から言いたい。



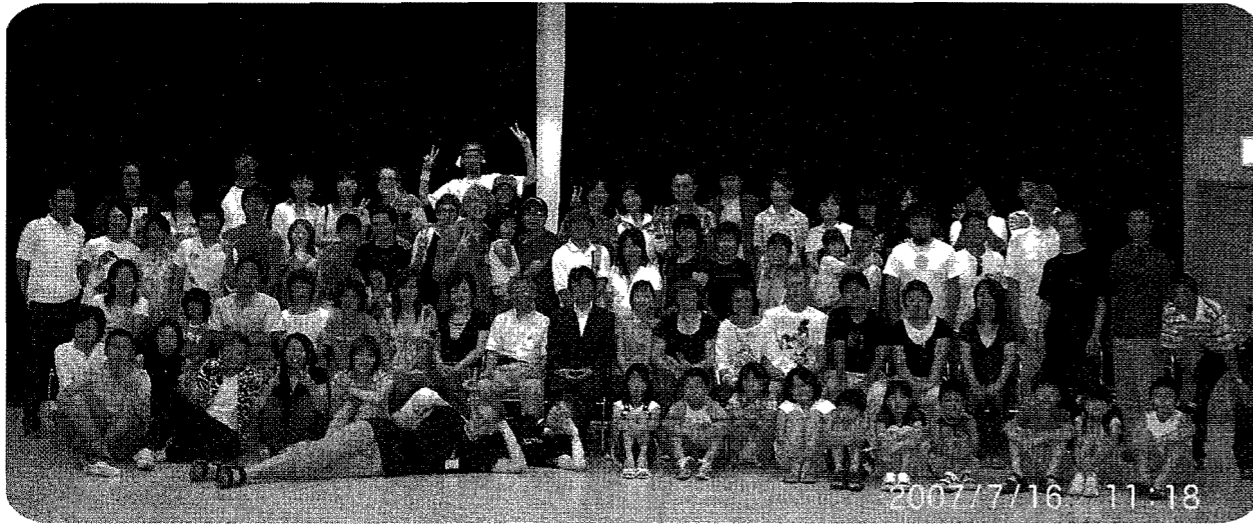
それから、副会長の谷口さんのお宅へいった。そこで、谷口一家からも親切にいただいた。午前11時ごろに谷口のお母さんとお父さんとお母さんの実家の娘さん(谷口さんの姪御さん)に連れられ、もう一回郡上を見に行っった。今度は郡上は景色がきれいなだけでなく、手工芸が発達しているということが分かった。私はお土産の店で、包装の美しいのお菓子を買った。その包装に郡上八幡城と郡上踊りと宗祇水の水彩絵が描いてある。「9月に中国に帰ったら、プレゼントとして、両親にあげよう」と私は思った。そして、昼ごはんのときに、イノシシの肉で作ったコロッケを食べた。おいしかった。

最後に谷口のお父さんと国際交流の川井さんは私をバス停まで送ってくれた。バスが発車したが、二人はまだ私に手を振っていた。実は中国語に『さようなら』という言葉がない。そのかわりに「再見」という言葉がよく使われている。その意味は「また会いましょう」というのだ。「では、また会いましょう、郡上の中学校の生徒と先生、丹羽さん一家、谷口さん一家、『happyboy』、辻さんと国際交流の方々。皆さんのおかげで、私の留学生生活はさらに多彩になった。今度の経験は私にとって人生の中の美しい思い出だ。きっと一生忘れないよ」と私はそう思った。最後にもう一回感謝する。「いろいろお世話になりました。本当にありがとうございます。』

(リ・リンヒ)



今年度も岐阜大学「サマースクール」受入を行いました



(郡上市八幡町:藤田さん)

今回、学生さんをお世話する事になり、ホストファミリーの経験はありましたが、久しぶりなので少しは緊張するところもありました。しかし、学生を迎えてみると以前の雰囲気と少しも変わらず、すんなりと家族として受け入れる事が出来ほっとしました。

これも、学生自信が日本語を勉強していて通常会話に支障の無い状況だったからだと思います。また、彼女たち自身の性格もよく心から日本の文化を知ろうとする熱意を感じるころがあり何とか答えてやりたいと思いました。

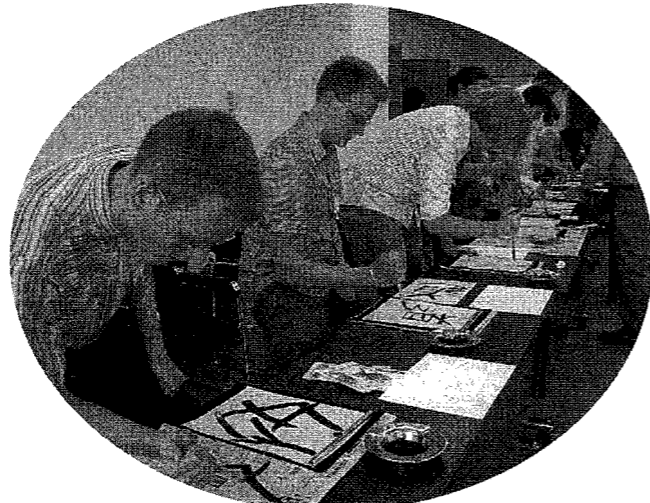
今回初めて、韓国の学生さんをお世話しましたが、礼儀作法等が素晴らしく感心させられるところや、こちらが反省する事があり良い刺激を受けました。4日間の生活は彼女中心の事もありましたが、殆どが通常のペースが保つ事が出来無理なく過ごす事が出来ました。しかし、これで本当に良いのかは自分自身疑問ですが、郡上八幡は山紫水明にめぐまれており、郡上踊りを起爆剤として国際交流をするには恵まれた環境にあると思います。

彼女が「浴衣」を着たときは心からの笑顔がとっても印象深く感じ、受け入れて良かったな思いました。また、私たちに積極的に話しかけてくれて、韓国の家族、習慣・文化等を知ることができました。

評価会の時に、期間の延長が話題になりました、4日間は短いかもしれませんが、名残惜しいところで終わりを迎えるのも大事ではないかなと思うところもあります。

大事な子供を預かり娘がひよっこり遊びに返ってくれたような気分となり、何事もなく送り出せたことをうれしく思っております。今はほっとりと穴が空いた空間を思い出話で食卓を囲む毎日です。

… カムサハムニダ …



(郡上市八幡町:武藤さん)

今回、ホストファミリーを初めて受けさせていただきました。

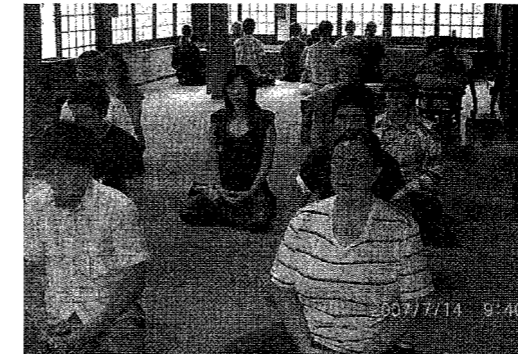
小学生の頃からずっと受けたくて、17年経ってのホストファミリーがとても楽しみでした。家の大掃除からはじまり、どこへ連れて行ってあげるか考えたり・・・と来てくれる留学生のことを考え、とても楽しかったです。

留学生を迎える当日、うれしい反面、言葉はうまく伝わるのか、楽しんでもらえるだろうか・・・と少し不安もありました。

一日目、家族の紹介をしたり、(留学生)オーサの国、スウェーデンの話の聞いたりしました。スウェーデンからのおみやげも持ってきてくれ、みんなで楽しんで話したりしました。スウェーデンという国を今まで調べたこともなく、どんな国なのか色々なことを質問したりして、とても興味津々でした。私はオーサの国のことや、どうして日本という国を選んだのか、大学では何を学んでいるか、留学の目的など、聞きたいことをどんどん質問しました。辞書で調べながらの英語と、ゆっくり話す日本語と、今までにはない会話でした。

二日目、オーサと食料品を買いにスーパーへ出かけました。スウェーデンの料理を作ってくれるということで、とても楽しみにしていました。スウェーデンの料理は初めてで、全てオーサが一人で作ってくれました。ミートボールを作ってくれ、みんなで食べました。とてもおいしく初めての味でした。二日目の夜も、スウェーデンの事をいろいろ聞いて楽しく過ごすことができました。

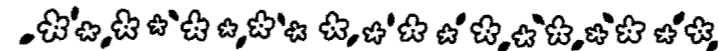
三日目、台風が来る予定でしたが、天気も良くなり暑くなりました。大滝鍾乳洞へ行き、魚釣りをやったり、焼肉を食べたりしました。帰ってからおみやげを買いに出かけ、オーサが欲しいと言っていた掛け軸を探しましたが見つかりませんでした。しかし気に入った下駄を買うことができて良かったです。夜は郡上踊りに出かけました。四日目、お別れの日はとてもさみしい気持ちでいっぱいでした。



今回のホストファミリーでは数日間でしたが、今までにない思いや、体験をさせていただきました。言葉の大切さを知りました。言葉が伝わらず全然違う食事を食べたり、生活をしたりすることは、とても大変なことです。

しかし、言葉が通じないこともありながら、数日間はとても濃く、心から良い経験をさせていただいたと思います。オーサと出会えてとてもうれしい気持ちです。これからもメールをしたり、手紙を書いたりしたいです。そしてスウェーデンという国や、他の国の文化にもとても興味を持ちました。海外には以前から興味がありましたが、今回のことを体験し、海外に行きたい気持ちも大きくなりました。そして普段は居間に家族みんなが集まることは少ないのですが、ホストファミリーを通じ色々話せたことも良い機会でした。今回の出会いや、色々や体験を大切にしていきたいです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

ホストファミリーを通じ色々話せたことも良い機会でした。今回の出会いや、色々や体験を大切にしていきたいです。本当に感謝しています。ありがとうございました。



(郡上市八幡町:和田さん)

世界は広い、人生は一度きり、生きている間に色々な国を目で見たり、風習などを体験したいと子どもの頃から思い、大人になったら世界中を旅行したいと思っていました。

が、そんな夢はとうとう叶う事は出来ず、それなら我が家に来てもらおうと、勝手に決めたホストファミリー歴六年目。

我が家は仕事の関係もあって家族がそろうこともなく、ほとんど私一人でお世話させていただいています。良いか悪いかは別にして、思い切り郡上八幡を味わって、一般家庭を味わって、一生の思い出になってくれればと、毎度コースは同じ。郡上おどりはもちろん、スナックへ行って、お国の歌を歌ってもらうのが行事です。

毎回感じるのですが、たった4日間行動を共にするだけで、自分の子どもと変わりなく、人間は皆同じなんだと、そしてこの出会いは縁があつてのものなんだと思えます。この夏には昨年ホームステイをした一人が、休暇を利用して再び八幡を訪れてくれると連絡があり、会えるのをとても楽しみにしています。また来年も元気でおりましたら、ぜひお受けしたいと思います。岐阜大学サマースクールの計画に、郡上八幡エクスカージョンがずっと続きますように…。

